

市政のここが聴きたい！

# 一般質問

10議員が登壇

傍聴者延べ42名

一般質問とは、議員が市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来の方針などを質問し、説明を求めるものです。

※一般質問の様子もホームページで録画配信中ですのでご覧ください。



性の多様性を認め合う社会に

**問** 誰もが自分らしく暮らせる社会を実現する第一歩として、議会が全会一致で採択した同性同士で生活する方を家族として扱う「パートナーシップ認証制度」の創設を求める請願は、どのように処理されたのか。

**答** パートナーシップ認証制度について、埼玉県西部地域まちづくり協議会構成5市での相互利用の実施に向けて要綱等を作成し、協定書の締結を行う予定であり、本市でも本年度中の要綱作成に向けて事務を進めている。



多様性を認める社会について

鈴木 健夫

**未就学児の安全対策について**

**問** 未就学児を交通事故から守るために、保育施設等の周辺道路にキッズゾーンを整備する考えは。

**答** 道路・交通状況の変化により設置が必要な際は、保育施設、道路管理に關わる各課、警察などと協議の上、進める。

**障がい者雇用について**

**問** 発達障がいや知的又は精神障がいのある方を職員に雇用することは。

**答** 業務量の創出や継続して働ける労働環境の整備など、一人でも多くの雇用創出を研究したい。

**新型コロナウイルス感染症対策について**

**問** 自宅療養者の現状を把握して、適切な支援を進めているか。

**答** 県が保健所を窓口として随時人数等を把握し、状況に応じて適切に対応しているが、県から支援

の食料が届くまでの間、市独自に希望者へ人数分の食料を直接届ける「配食サービス事業」を実施している。

**問** 自宅療養者の重症化の兆候をつかむ「パルスオキシメーター」の配備・活用状況は。

**答** 県から支援で貸与されるまでの間、県に代わって貸し出す「パルスオキシメーター貸出事業」を実施しており、市で70台を確保している。

**問** 医療機関でPCR検査を受けた結果、陽性が判明し、帰宅時の公共交通機関の利用ができない方への支援は。

**答** 陰圧機能を持った車両の確保が望ましいが、こうした特殊車両の確保を含め、直ちに支援体制を整備することは難しい。